

# 愛知の土地改良

第179号

平成26年1月1日



明治用水春景色（安城市）  
第12回あいちの農業・農村フォトコンテスト  
水土里のフォト大賞作品

Land improvement of Aichi

□ 新年を迎えて 会長 神谷金衛	2
□ 新春を迎えて 愛知県知事 大村秀章	3
□ ご挨拶 愛知県農林水産部農林基盤担当局長 清田大助	4
□ 叙勲・県功労者表彰	5
□ 平成26年度農業農村整備事業に関する重点要請活動	5
□ 農業用排水機県営移管期成同盟会要望活動	7
□ 農業農村整備の集い	8
□ 第36回全国土地改良大会北海道大会	11
□ 第36回全国土地改良大会併設行事「農地等地図情報の活用事例紹介」	13
□ 疏水フォーラムin明治用水2013	14
□ 愛知県農業用水小水力発電推進協議会総会	15
□ 第4回産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会	16
□ 農地・水・環境のつどい	16
□ 平成25年度農業農村整備事業広報活動	17
□ 研修会	18
□ 子ども絵画展2013入賞作品、入選作品	20
□ 第12回フォトコンテスト入賞入選作品	21
□ 水土総合強化推進事業情報	22
□ お知らせ	23
□ 迎春	24

水土里ネット 愛知

発行 愛知県土地改良事業団体連合会  
名古屋市区栄生一丁目18番25号  
電話(052)551-3611(代)

<http://www.aichi-doren.or.jp>



愛知県土地改良事業団体連合会

会長 神谷 金衛

年頭のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方には、新年を迎え益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素は、本会の運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り深く感謝いたします。

昨年は、記録的な猛暑が続き、節水を余儀なくされたかと思えば、1時間に100ミリ以上の猛烈な降雨や、竜巻が発生するなどの異常気象に振り回され、また、7月に参加した環太平洋経済連携（TPP）交渉は、年内の妥結に至らず、部分的な合意に終わり、今春の妥結に向け仕切り直しとなるなど農業を取り巻く状況が不安定な年でありました。

さて、政府は、12月10日に「農林水産業・地域の活力創造プラン」を正式決定し、10年間で全農地の8割を担い手に集積・集約して競争力を強化するほか、5000億円弱で推移する農林水産物・食品の輸出額を2020年までに1兆円に増やすことを打ち出しました。

具体の施策としては、「農地中間管理機構」による担い手への農地集積・集約化・耕作放棄地の発生防止・解消等、高付加価値化・生産コスト削減に

資する大区画化と、国土強靱化を踏まえた水利施設の整備等を行うものとしております。

そして、平成26年度は、「農地中間管理機構」や、「日本型直接支払制度（多面的機能支払）」が創設され、農地・水・保全管理支払いの組替えなど新たな取り組みが始まります。本会としましても、農地・農業用水はもちろん、農村地域を守りつなぐ水土里ネットとしての使命を再認識し、これまで培ってきた技術と経験を活かして、積極的に貢献して参ります。

また、新たに取組んでおります農業用水を利用した小水力発電の推進に対しても、昨年、実施した新城市四谷地区の小水力発電施設を皮切りに愛知県が現在予定している21地区を始めとして、再生可能エネルギーの利用促進の取り組みへの支援を含め、今後も鋭意、会員の皆様方のご意見を反映しつつ、役職員が一丸となって、業務運営に一層の努力をして参りたいと考えております。

平成26年も、会員各位の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、農業農村整備事業の限りなき発展と皆様の方々の益々のご繁栄を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



愛知県知事

大村 秀章

あけましておめでとうございます。

県民の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、円高是正、デフレ脱却に向けた政策が進められ、景気が緩やかに回復に向かうなど、ようやく明るい兆しが見えた年でした。このような中で、日本一の産業県・愛知が我が国の産業経済を牽引していくという決意のもと、産業競争力の強化に全力で取り組んでまいりました。

今年は、こうした取組を一層発展させ、愛知の活力と豊かさを更に高めていくとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、2027年のリニア中央新幹線の開業を視野に入れた地域づくりをしっかりと進めてまいります。

このため、企業立地や研究開発に対する支援、航空宇宙を始めとする次世代産業の育成・振興、規制改革の実現、モノづくり人材・グローバル人材の育成などに全力で取り組むほか、利便性の高い交通体系の形成や農林水産業の競争力強化、観光魅力のPR強化、女性の活躍推進、子育て支援、福祉・医療の充実、交通安全、地震防災対策、スポーツ・文化面等の魅力向上などに力を注いでまいります。

特に、農林水産業においては、6次産業化や農商工連携の一層の推進、花いっぱい県民運動等を通

じた花きの需要拡大、地産地消の推進や県産木材の利用拡大など、消費者・加工業者等の嗜好を的確にとらえる「マーケット・イン」の視点に立った取組を推進し、愛知が誇る高品質な農林水産物の国内外への販路拡大や経営革新に努めてまいります。

農業農村整備事業につきましては、強い農業の基盤づくりに向け、農業経営の規模拡大を促進する用排水路の整備やほ場の大区画化等を一層推進してまいりますとともに、自然災害から県民の命と暮らしを守る強靱な県土づくりを進める農業用排水機場の計画的な更新やため池の耐震対策などを重点的に実施してまいります。

さらに、再生可能エネルギーの導入促進を図るため、農業用水の水路密度日本一のポテンシャルを活かして、小水力発電を県内各所に展開してまいります。

今年秋には、「ESDに関するユネスコ世界会議」、「技能五輪全国大会・全国アビリンピック」が開催されます。地域が一丸となって成功に導き、愛知の魅力を全国・世界に向けて発信してまいります。

これらの取組を通じて、「日本一元気な愛知」と豊かさを実感できる県民生活の実現を目指してまいりたいと考えておりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



愛知県農林水産部農林基盤担当局長

## 溝田 大助

あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては、神谷会長様を中心に、県政の発展に多大なご支援をいただくとともに、本県の農業農村整備事業の推進に格別なご尽力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

さて、昨年4月7日には、昭和38年に国営矢作川農業水利事業により築造された羽布ダムの竣工50周年記念式典が、大村知事出席のもと盛大に開催されました。式典には水没移転者や受益土地改良区の方々を始め、地元下山地区の小中学生など多くの関係者が参加し、ダムの恩恵に感謝の念を捧げたところです。

現在この羽布ダムでは、県が小水力発電の設計を進めており、来年度には本格的な工事に着手する予定です。この羽布ダムを始め貴連合会と県が車の両輪となって推進している農業用水を利用した小水力発電については、県内21地区において具体的な取組が進められているところですが、このうち貴連合会が設計された新城市の四谷地区と、農地・水保全管理活動で設置した西尾市の北浜川西地区の2箇所が既に稼働しており、今後は県内各所に大小とりまぜた小水力発電が広がることが期待されているところです。

さて、本年、農業構造の大改革が打ち出されるとともに日本型直接支払制度が創設されるなど、我が国の農政は新たな一步を踏み出しました。

そうした中で、農業の生産現場を強化する、ほ場の大区画化や汎用化、水利施設の整備を積極的

に推進することがこれまで以上に求められており、貴連合会の技術力が一層重要となります。

また、日本型直接支払制度では、貴連合会が平成19年度から地域の農家・住民37万人と連携して取り組んでおられる農地・水保全管理活動で培われた知見を十分に活かしていただくことが円滑な事業の展開につながると考えております。

さらに、昨年は梅雨時期の少雨により、矢作川、豊川水系は深刻な節水を余儀なくされ、中でも宇連ダムは貯水率が0.8パーセントまで落ち込む事態となりましたが、一方で時間雨量100ミリメートルを超えるゲリラ豪雨に見舞われた地域もあり、気象庁が「異常気象」との見解を示すなど防災、減災の重要性があらためて強く認識されたところです。県としては、こうした状況を踏まえ、安心安全な県土づくりに資するため、排水機場の更新整備やため池・農地海岸の大規模地震対策など農地防災事業に一層重点的に取り組んでいく必要があると考えています。

貴連合会におかれましては、今後とも本県の農業農村整備の推進に一層のご尽力をいただくとともに、これまで培われた知識や技術力を駆使して、多面的機能を持つ農地、農業用水などの保全管理へのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会のますますのご発展と会員各位のご健勝ご多幸をお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつとさせていただきます。

## 叙勲・県功労者表彰

平成25年度の秋の叙勲並びに県功労者表彰の栄えある受賞者に、土地改良事業関係者から4名の方々が受賞の栄に浴された。

このたびの栄えある受賞を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健でご活躍されますようお祈りいたします。

旭日双光章



平野 重良氏

常滑土地改良区  
理事長

旭日双光章



竹田 正巳氏

東浦町土地改良区  
理事長

旭日単光章



浜田 穆氏

(前)立田輪中悪水土地改良区  
理事長

県功労者表彰



都築 傳七氏

高浜市土地改良区  
理事長

## 平成26年度 農業農村整備事業に関する重点要請活動を実施

11月27日、平成26年度農業農村整備事業に関する17項目の重点要請を大村秀章愛知県知事始め県執行部に対し、神谷金衛会長、青木章雄専務理事、佐野幸雄飛島土地改良区理事長により実施した。

また、併せて三浦孝司自由民主党愛知県議員団

土地改良議員連盟会長始め、役員を務める県議会議員、東海農政局農村計画部長、整備部長を始めとする幹部に対し要請を行った。

要請書並びに17項目の内容は次のとおりです。  
6ページへ続く



大村知事に要請書を手交



大村知事始め県執行部への要請

愛知県の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご理解とご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業農村整備事業予算が平成22年度に大幅削減され、農村地域における社会基盤整備は滞っていましたが、25年度においては24年度補正と合わせて削減前(21年度)を上回る予算を確保していただきました。

しかしながら、地域のニーズに応じた農業農村整備事業を展開していくには、計画的・効率的に事業を進めることができる当初予算を確保することが重要であります。

さて、本県は、古くから木曾川・矢作川・豊川の三大水系を中心として、先人の努力により数多くの農業用水路が開削され、戦後は愛知用水を始め、各水系で大規模水利事業を展開してきたことにより、農業産出額は常に上位を維持する、全国でも有数の農業県となっております。

これら先人が築き守ってこられた施設を、更に機能的かつ高度に活用し、維持・更新をしていくことが私たちの責務でもありますので、平成26年度事業着手地区として要求されている国営総合農地防災事業「矢作川総合第二期地区」を早期に着工していただくと共に、これまで補完的な改築に留まってきた大規模水利施設や、土地改良区に管理委託している水資源開発施設等につきましても、適切な時期に次代を見据えた更新や機能保全対策を実施していく必要があります。

一方で、我が国最大規模の海拔ゼロメートル地帯を有する特殊な事情を抱えておりますので、食料生産の体質強化を図る農業生産基盤の整備と共に、南海トラフにおいて発生が危惧される大規模地震や、近年多発するゲリラ豪雨等に備えた、防災・減災のための農業用施設の耐震化・更新整備が喫緊の課題であります。

また、農村における多面的機能の維持や、農業用水を利用した小水力発電等の再生可能エネルギーの導入など、農村資源の保全とその恵みを活用していく必要もあります。

今回、こうした課題や地域のニーズに応えるべく、3つのテーマで合わせて17項目の重点要請を行いたいと思います。愛知県土地改良事業団体連合会は、今後も国・愛知県と連携して効率的・効果的な農業農村整備事業を展開していく所存でありますので、格別のご高配をお願いいたします。



要請を受ける三浦自民党土地改良議連会長



土地改良議員連盟役員に要請を行う神谷会長



大村知事と土地改良議員連盟役員

## 重点要請17項目

### I 地域ニーズに応じた攻めの農業農村整備事業の展開について

- 1 農業農村整備事業の当初予算の充実強化について
- 2 水質保全対策事業等の更新制度の拡充について
- 3 農地防災事業に係る土地改良法手続きの簡素化について
- 4 農地の集積・集約化に向けた農業基盤整備予算の拡大について



要請を受ける東海農政局幹部の方々

### II 暮らしを支える大規模水利施設の計画的な更新整備について

- 1 国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区の着工について
- 2 国営総合農地防災事業 新濃尾地区の推進について
- 3 国営施設機能保全事業 尾張西部地区の早期着手について
- 4 地域整備方向検討調査 矢作川沿岸地域の早期着手について
- 5 水資源機構営 豊川用水二期事業の推進について
- 6 水資源開発施設等保管理事業の推進について

### III 国土強靱化に資する農業農村防災対策と持続的な農業生産基盤の整備について

- 1 農村地域防災減災対策事業及び海岸整備事業の促進について
- 2 震災対策農業水利施設整備事業等の促進について
- 3 特定農業用管水路等特別対策事業の促進について
- 4 農地・水保管理支払交付金の恒久化等について
- 5 農業用水を利用した小水力発電の促進について
- 6 農業水利施設の適切な維持管理に対する支援について
- 7 単県事業(土地改良)の予算確保について
- 7-1 水土里情報の更新整備に対する支援について

※東海農政局へは7に替え7-1により要請



## 農業用排水機県営移管期成同盟会要望活動

11月27日、農業用排水機県営移管期成同盟会(会長 服部金藏)においても佐野幸雄同盟会副会長(飛鳥土地改良区理事長)が、大村秀章愛知県知事始め県執行部並びに、自由民主党愛知県議員団土地改良議員連盟役員に対し、排水機維持管理事業費補助金の予算確保に関する要望活動を行った。

8ページへ続く



大村知事に要望書を手交

## 排水機維持管理事業に関する要望

排水機維持管理事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

農業用排水機は、農地のみならず住宅地や公共施設用地など地域全体の排水を担っており、その公共性の高さから農業用排水機県営移管期成同盟会は農業用排水機の県管理を要望してきました。

これに対し愛知県は「直ちの全面的県営管理は不可能」とし、代替措置として排水機維持管理事業を創設されましたが、このことは農業用排水機の公益性を踏まえ、私どもが公的な役割を果たしていくことの結果として、その費用を補助して頂いているところであります。

しかしながら、近年においては県の厳しい財政状況を理由に補助金が縮減され、今後も更に続いていくと、排水機を管理している我々の組織の運営に大きな影響を与え、ひいては地域の防災対策の弱体化を招き、地域住民の生命と財産を守ることも極めて困難になると懸念しております。

昨今の局地的豪雨の増加や燃料費の高騰などから、排水機の維持管理費用は増加傾向にあり、また、東日本大震災を契機に農業用排水機の役割が再認識され、大きな社会的責任が求められている状況の中、経費の節減も限界にきており、事業の予算確保に特段のお取り計らいをよろしくお願い申し上げます。



土地改良議員連盟役員に要望説明する佐野副会長

## 農業農村整備の集い開催

11月26日「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバッハ砂防において開催された。この集いは、平成26年度の予算編成期を迎え「攻めの農林水産業」にかかせない農業農村整備予算を確保する目的で開催されたもので、林 芳正農林水産大臣をはじめ、吉川貴盛副大臣、横山 信一政務官、農村振興局幹部、120名の政党を超

えた衆参国會議員、全国から土地改良関係者約730名が参集し、本県からは、神谷金衛会長をはじめ、本会会員、愛知県幹部の25名が参加し、会場は熱気に包まれた。

冒頭、挨拶に立った野中広務全国水土里ネット会長は「土地改良関係者として、農地中間管理事業や日本型直接支払制度等をはじめとした政府



来賓祝辞を述べる林 芳正農林水産大臣



野中全国水土里ネット会長主催者挨拶



の動きを重く受け止めねばならない。農地・農業用水はもちろん、農村地域を守り繋ぐ組織としての使命を再認識し、国が目指す方向の実現に向け、これまで培ってきた技術と経験を活用し、積極的な貢献を果たしていく覚悟である。」と述べ、続いて、来賓として臨席された林 芳正農林水産大臣は、祝辞の中で、農業生産の基盤は農地と水であるとしたうえで、「我が国では、先人達が長きにわたり、連綿と農地と水に手を加え、守り抜いてこられた。今日、1億2000万人を超える国民に食料が安定供給されているのは、土地改良に携わってきた方々の絶え間ない努力によるものであり、今後も農地と水を将来に亘って整備、保全し、子孫へと継承していくことが我々の世代の責務である。」との考えを示した。平成26年度予算については、「農政全体の見直しと併行して、農業の競争力を強化するための農地の大区画化、汎用化、畑地かんがいや農村地域の防災・減災を図るための農業水利施設の耐震化、長寿命化、洪水対策など、現場のニーズに対応した事業の実施、最

大限の予算確保に努めていく。」また、東日本大震災の復旧・復興については概ね計画通り進んでいることを説明し、「復旧・復興の取り組みでは、土地改良のノウハウが重要となる。」と述べ、参加した全国の土地改良技術者に対し、引き続いての協力を要請した。

続いて、實重重実農村振興局長より「情勢報告」が行われ、農政の改革方向や平成26年度予算概算要求等について説明があった。

この後、宮城県の仙台東土地改良区をはじめ、3地区の事例が発表された後、要請書を全会一致で採択し、亀井利克三重県土連会長の音頭で農業農村整備のより一層の推進に向けて「ガンパロー」を三唱し、集いは終了した。

集い終了後、代表者により採択された要請書をもとに財務省・農林水産省に要請活動を実施した。なお、本県においても神谷金衛会長をはじめとする参加者により、愛知県における「平成26年度農業農村整備事業に関する重点要請」17項目の要請書とともに要請活動を行った。10ページへ続く



本県選出国會議員に要請書を手交



## 要請書

農業・農村は、国の大本であり、豊かな国土や自然環境も、農業・農村が健全であって初めて維持されるものである。このため先人達は、農業・農村の健全な発展のために、農地や農業用水路などの維持、向上に向け、献身的な努力を続けてきた。

このような中、平成22年度農業農村整備予算が大幅に削減された。平成25年度には平成24年度の補正予算とあわせ、元の姿に復活しつつあるが、この流れを止めることなく、平成26年度当初予算においても、その復活が実感できる規模を確保する必要がある。

全国の農業・農村においては、過疎化、高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積している。さらにTTP交渉の行方如何によっては、日本の安全な食と健全な農業、美しい農村に重大な影響を与えることが懸念されるところである。今こそ、農業農村整備事業をはじめとした各種の農業・農村の振興に資する施策の推進により、集落営農を含む担い手への農地集積の加速化、経営

基盤の強化・拡大を実現し、攻めの農業を展開していく必要がある。

東日本大震災の被災地域では、今も一刻も早い復旧、復興を強く望んでいる。全国各地で農業水利施設の老朽化も進行しており、食料生産の増大、非主食米等への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命と財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されるところである。

さらに、農村の資源を活用した小水力発電等への期待が大きくなっていることに対しても、十分に応えて行かなければならない。

こうした状況の下、政府は農業・農村の所得倍増を目指し、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」、「国土強靱」の実現に向け、精力的に検討を進めているところである。水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、国が目指すべき方向の実現に向け、積極的な貢献を果たしていく覚悟の下、以上の厳しい現状と課題も踏まえて、次の事項の実現を国に強く要請する。

## 記

安定的・計画的な事業執行のために、平成26年度当初予算において、平成22年度に大幅に削減された農業農村整備予算が復活したと実感できるような規模を確保するとともに、特に、担い手への面的集積に不可欠な農地整備や国土強靱化の考えに即した防災・減災対策の推進を図ることとし、以下のとおり要望する。

1 TTP交渉により、日本の食の安全・安心を担い、多面的機能を発揮している農業・農村とこれを支える農家の生産意欲に悪影響を及ぼすようなことは、国として断固行わないこと。

2 食料自給率の向上と担い手への農地集積の加速化を実現し、攻めの農業を展開するため、水田の大区画化や汎用化、畑地かんがい施設の整備をはじめとした各種の対策を、国が責任をもって推進すること。

3 東日本大震災を始めとする災害からの復旧・復興に向け、農業用施設、農地海岸保全施設等の復旧や農地の大区画化、除塩、除染等の対策を加速的に進めること。

4 国民の命と財産を守り、我が国の食と農林漁業を再生するため、国土強靱化の考えに即し、老朽化した農業水利施設の保全整備や耐震化等の防災・減災対策を着実に推進すること。

5 農地中間管理事業の運用に当たっては、土地改良区が有する技術と経験や地図情報システムを活用できる仕組みとすること。加えて、機構による借り受け等が、土地改良区が担ってきた水利調整や農業用水路等の保安全管理に与える影響を十分に考慮すること。

6 多面的機能支払いの検討に当たっては、農業の構造改革の進行が地域資源の保安全管理等に与える影響を十分に考慮するとともに、多くの地域で有効活用され、定着している「農地・水保管理支払交付金」の地域ぐるみの共同活動で資源を守る仕組みを十分に尊重すること。

7 農村の資源を有効に活用し、再生可能エネルギーの普及、維持管理費の低減等に資するため、小水力発電等を推進すること。

平成25年11月26日

全国土地改良事業団体連合会

都道府県土地改良事業団体連合会

# 第36回 全国土地改良大会 北海道大会 開催

水・土・里かがやく北の大地 明日を担う土地改良 ～食と農業・農村の未来を確かなもの～



9月11日、第36回全国土地改良大会北海道大会が、北海道立総合体育センター(愛称:北海きたえ〜)において、水土里ネット北海道、全国水土里ネットの主催及び農林水産省、国土交通省、北海道等の後援により、「農業・農村の重要性」と、それを支える「農業農村整備事業の役割」を広く国民にアピールするとともに、新たな農業の展開方向に即して、改めて農業農村整備の使命を再認識し、我が国の農業・農村をさらに発展させることを目的として、大会テーマ「水・土・里かがやく北の大地 明日を担う土地改良～食と農業・農村の未来を確かなもの～」の下、全国の土地改良関係者約3,000名が参集し、盛大に開催された。

大会は北海道を代表する郷土民謡として唄い続けられている江差町が発祥の「江差追分」の歓迎アトラクションによるオープニングの後、開幕した式典では、宮谷内留雄水土里ネッ



野中全国水土里ネット会長による主催者挨拶

ト北海道副会長の開会宣言の後、眞野 弘水土里ネット北海道会長の開催挨拶、野中広務全国水土里ネット会長の主催者挨拶と続き、高橋はるみ北海道知事及び上田文雄札幌市長の歓迎のことばの後、来賓を代表して江藤 拓農林水産副大臣による祝辞が述べられた。

続いて、土地改良事業功労者表彰に移り、農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰44名の受賞者に表彰状と記念品が授与

された。本県からは、全国土地改良事業団体連合会長表彰に澤田丸四郎理事(愛知県議会議員)が表彰の栄に浴された。



次に、小林祐一農村振興局次長による、東日本大震災からの復旧・復興の状況、農業農村整備事業の展開方向について基調講演が行われたほか、東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島県による農地復旧状況や復興への取組等の報告、道内における優良事例として、国営農地再編整備事業「中樹林地区」及び道営農地整備事業「川西西・川西中央地区」での事業効果等について報告が行われた。

この後JA道央青年部の20代の若手農業経営者である中島崇裕さんと太田淳子さんが「食と農業・農村の未来を確かなものにしていくことが重大な使命と認識し、我が国の農業・農村の礎である『水・土・里』を守り、さらに発展させ、次世代に引き継いでいく」との大会宣言を行い、続いて次期開催地の水土里ネット山梨の

12ページへ続く

- 白倉政司会長に大会旗が引き継がれた後、閉会挨拶が行われ大会は盛会裏に幕を閉じた。
- 12日から13日には、視察研修会が、6コースに分かれ実施された。本会は、空知・十勝コース

に参加し、国営農地再編整備事業・中樹林地区、南長沼地区、道営中山間総合整備事業・バイオマス施設、コントラクター活用状況、道営畑地帯総合整備事業・川西西地区などを視察した。



参加された役員の皆様



道営中山間総合整備事業・バイオマス施設視察

## 大会宣言

我が国の農業・農村は、食料生産により人間の基本的な営みを支えるとともに、農業生産活動を通じた大きな循環の流れの中で豊かな生命を育み、自然環境の保全、良好な農村景観の形成、文化の伝承など多面的な機能を発揮し国土を支えてきました。また、気候、風土、土地条件などの変化に富んだ国土で、それぞれの地域の特色を生かした多様な農業が展開され、地域独特の農村文化が育まれてきました。

こうした農業・農村の発展は、先人たちが長い歳月を重ね、「水と大地」に巧みに働きかけてきた土地改良の歴史的成果であります。

ここ北海道は、開拓の鋤が入れられて1世紀半。先人の血のにじむような努力と汗により、みどり豊かな農地に変貌をとげ、冷害や凶作も見事に克服しました。

これは、将に土地改良への弛まぬ取り組みの賜であります。人もぬかるような排水不良地の改良、圃場の大区画化等に、先人達は精力的に取り組んできました。現在では、大規模で専門的な農業が展開され、北海道ならではの農村景観を形成しつつ、国内最大の食料供給地域に生まれ変わりました。

私たち「水土里ネット」は、全国のこのような豊かで、美しいふるさとをこれからも守り育て、次の世代に引き継ぐ責務を負っています。

しかしながら、我が国の農業・農村は、農産物の質

易自由化や農産物価格の低迷、担い手の減少や高齢化、耕作放棄地の増加、自然災害の多発などにより、その機能が損なわれることが懸念されます。

世界に目を向けると、人口爆発や紛争による飢餓問題、深刻化する環境問題、さらにはエネルギー問題など地球規模での課題に直面しており、私たちは、このグローバルな課題にも立ち向かわなければなりません。

このような中、国においては、成長戦略の柱に「攻めの農業」を位置付け、大区画化などの農地整備や農業水利施設の整備を推進するとともに、防災・減災のための国土強靱化に取り組み、災害に強い国土づくりを進めるとしています。私たちは、課せられた役割と責務を十分認識し、東日本大震災からの復旧・復興の加速化はもとより、長年にわたって培ってきたノウハウを最大限活用し、その実現に向けて積極的に貢献していく必要があります。更には、小水力、太陽光、バイオガスなどの再生可能エネルギーの有効利用も推し進めていく必要があります。

本日、ここに集う私たち「水土里ネット」は、改めて、「明日を担う土地改良」の意味するものを噛みしめて、食と農業・農村の未来を確かなものにしていくことが重大な使命と認識し、我が国の農業・農村の礎である「水・土・里」を守り、さらに発展させ、次世代に引き継いでいくことを、「水・土・里かがやく北の大地」、ここ北海道から高らかに宣言します。

# 第36回 全国土地改良大会併設行事「農地等地図情報の活用事例紹介」

9月11日、北海道立総合体育センターにおいて開催された第36回全国土地改良大会(北海道大会)の併設行事として「農地等地図情報の活用事例紹介コーナー」が設けられ、各県の展示ブースではPCによる説明、ポスター展示及びパンフレット配布が実施される中、愛知県における水土里情報の利活用の事例について、パネル2枚とタ

ブレット端末を使って事例紹介を行った。

展示ブースでは5つのコーナーが設けられ、本県はWebGISコーナー、スタンドアロンコーナー、現地調査コーナーの3コーナーに参加した。

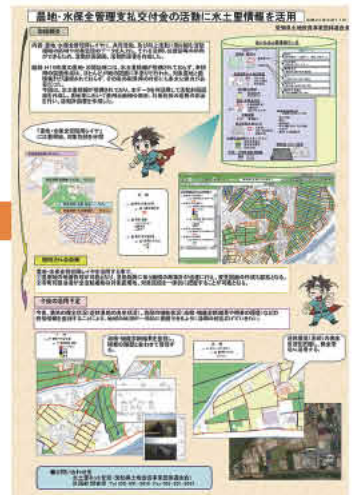
各コーナーの内容

## 1 WebGISコーナー

WebGISの仕組み、メリット、デメリット、利活用等の紹介

(本県対応分) 農地・水保全管理支払交付金の活動に水土里情報を活用した紹介。

[内容] 専用レイヤ(地図)を作って、活動組織区域、対象農地、ため池等対象施設の管理を行い、更に、面積の再集計、補修履歴の登録遊休農地を重ね合わせて保全管理を行う事を、水土里情報システムで紹介した。



## 2 スタンドアロンコーナー

スタンドアロンによる水土里情報の利活用紹介

(本県対応分) 台帳データを水土里情報データと連携した活用事例。

[内容] 農業委員会の台帳データと水土里情報データを水土里GISLightを使って連携した地図活用を紹介。

## 3 現地調査コーナー

「水土里Egg」、小型無人航空機の現地調査等の紹介

(本県対応分) 現地端末による作付確認の活用事例。

[内容] タブレット用現地確認アプリ「水土里Egg」を使った紹介

## 4 写真・地図利用コーナー

衛星画像、地形図の紹介

## 5 土地改良施設コーナー

施設管理台帳、維持管理、災害復旧等の活用紹介



各県の展示ブース



江藤農林水産副大臣への活用事例説明

## 疏水フォーラムin明治用水2013 ～疏通千里・利澤萬世～

10月31日、第8回目となる「疏水フォーラムin明治用水2013～疏通千里・利澤萬世～」が安城市において水土里ネット明治用水、疏水ネットワーク、全国水土里ネットの主催、東海農政局、愛知県、水土里ネット愛知、明治用水受益市、関連企業の共催・協賛・後援により全国の疏水を管理する水土里ネットなどの疏水ネットワーク会員をはじめとする約250名の参加を得て開催された。

本フォーラムは、平成17年度に選定された「全国疏水百選」を契機として疏水の役割を広く一般市民に発信することを目的に毎年開催されているもので、地域住民と共に疏水とその景観や歴史を守り、伝え、育みながら、農業・農村を元気にすることを目指したものである。

今回のフォーラムでは、約130年前に完成した明治用水を舞台に、明治用水の歴史や明治用水を支える水土里ネットの取組について紹介されたほか、現在の農業・農村を取り巻く状況を踏まえ、将来も水土里ネットが存続するために何をすべきかについて講演が行われるなど、参加者にとって疏水を守る水土里ネットを取り巻く環境について理解を深める内容となった。

フォーラムの後半には前全国農村振興技術連



盟委員長の太田信介氏が座長としてパネリスト4名によるパネルディスカッションが行われ、水土里ネットはどのような人と関わり、どのような取り組みをしてきたかを振り返り、「広報」の視点から、特に地域住民、組合員に焦点を当て、水土里ネットの役割・活動を広く知ってもらうためにはどのようにすればよいかについて参加者を交えながら盛んな意見交換が行われた。

また、フォーラム会場前では、明治用水の概要、愛知の農業農村整備、全国の疏水、農地・水保管理支払交付金や国営事業を紹介するパネルの展示等を行い、事業のPRを行った。

なお、フォーラム翌日の11月1日には水土里ネット明治用水が取り組む特徴的な活動がわかる施設を中心に現地研修を行った。



パネリスト



参加者に意見を求める座長の太田前委員長

# 愛知県農業用水小水力発電推進協議会総会 開催

## 愛知県知事を来賓に迎え盛大に開催

11月18日、愛知県農業用水小水力発電推進協議会総会を愛知県土地改良会館7階大会議室で開催した。

この協議会は、愛知県における農業用水を利用した小水力発電を推進することにより、再生可能エネルギーの利用促進を図ると共に、土地改良関係団体の社会貢献及び経営基盤の強化に資することを目的として昨年8月1日に設立されたもので、102団体(市町、土地改良区、農地水組織など)が加入している。

総会には、大村秀章愛知県知事始め、森多可志東海農政局長、三浦孝司愛知県議会自由民主党土地改良議員連盟会長、安藤まさひこ愛知県議会農林水産委員長ほか、国、県、水資源機構の関係者等多数の来賓を迎え、会員45団体が出席して開催した。

総会は、穂積亮次副会長(新城市長)の開会の辞に始まり、神谷金衛会長(水土里ネット愛知会長)の挨拶、来賓祝辞として大村愛知県知事、森東海農政局長より祝辞が述べられた後議事に入った。議長には規約の定めにより神谷会長が選任され、付議された事業報告、事業計画はいずれも原案通

## 愛知県農業用水小水力発電推進協議会総会



大村知事挨拶

り議決され、続いて報告事項として、山内東海農政局整備部次長より「小水力発電を取り巻く最近の情勢」、溝田愛知県農林基盤担当局長より「県内における取組の状況」、原川全国水土里ネット企画研究部長より「全国農業用水小水力発電推進協議会の取組の状況」がそれぞれ報告された。最後に穂積副会長の閉会の辞で総会は終了した。

なお、総会終了後引き続き、小河路新城設楽農林水産事務所建設課課長補佐より「四谷地区小水力発電施設」による事例発表、小水力発電製造メーカー3社による事例発表等が行われた。

また、別室においては事例発表をおこなったメーカー3社によるパネル展示、並びにデモ機の展示も行われた。



パネル及びデモ会場

## 第4回 産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会

10月23日、産学官連携・愛知県農業用水小水力発電推進検討委員会が、愛知県土地改良会館において委員18名、オブザーバー21名の出席の下開催された。本委員会は愛知県における農業用水を利用した小水力発電について、産学官と土地改良関係団体の協働連携により県内全域へ普及し、農村資源の有効活用と再生可能エネルギー供給システムの実現をめざすとともに、県内関連産業の振興支援を図ることを目的に設置されたもので6月の開催に引き続き4回目の開催となった。

委員会は座長である山本信介農林基盤担当局長農地環境対策監の挨拶の後、議事に入った。

協議された議題及び内容は下記のとおり

### 1 設置要領改正、構成員の追加について

・構成員である財団法人愛知・豊川用水振興協会の公益認定に伴う要領改正及び構成員とし



挨拶を行う座長の山本農地環境対策監

て農林基盤担当局長農地整備課長を追加した。

### 2 啓発パンフレット(素案)について

・県内の農業水利施設を活用した小水力発電施設の計画的な整備を促進するための基本整備計画(マスタープラン)の策定及び、市町村、土地改良区等が小水力発電に取り組む際の参考となる啓発用パンフレット作成について素案を基に各委員による意見交換を行った。

## 農地・水・環境のつどい 開催

12月7日、安城市文化センターマツバホールにおいて、「農地・水・環境のつどい」を主催愛知県、共催水土里ネット愛知で開催した。つどいは第一部の優良活動表彰会と第二部の講演会の2部構成となっており、第一部の優良活動表彰会では、大村秀章知事の主催者挨拶の後、活動の一層の普及を図り、県民の理解を促進するとともに、活動組織の意識向上を図るため、他の模範となる優れた活動に取り組む活動組織に、愛知県知事賞、愛知県土連会長賞の賞状が授与され、受賞組織の紹介が行われた。この後、清家英貴東海農政局次長、鈴木正県議会副議長による来賓祝辞、続いて地域協議会を代表し、三浦孝司豊田加茂農地・水・環境保全地域協議会会長より祝辞がなされ第一部を終了した。



大村知事による主催者挨拶

第二部では気象予報士の植木奈緒子氏による「私と天気・農地とのかかわり」と題した講演を行い、最後に、神谷金衛水土里ネット愛知会長の閉会の挨拶で農地・水・環境のつどい全てのプログラムを終了した。

受賞組織は、次のとおりです。



## 愛知県知事賞

### 基礎活動部門

大興寺みどり保全管理会(知多市)

### 農村環境保全活動部門

竹上地域環境保全隊(豊田市)

### 創意工夫部門

水土里豊かな北浜川西を創る会(西尾市)



会長賞を授与する神谷会長

## 愛知県土地改良事業団体連合会会長賞

### 基礎活動部門

木曾川地区資源保全会(一宮市)

三和の美しい環境を育む会(西尾市)

福江校区農地・水・環境保全組織(田原市)

### 農村環境保全活動部門

濁池地域環境保全の会(尾張旭市)

清水地区資源環境保全会(稲沢市)

百町地域資源保全隊(津島市)

豊島環境保全会(新城市)

### 創意工夫部門

勅使水系環境保全の会(豊明市)

福釜環境保全会(安城市)

## 羽布ダム竣工50周年関連イベント

# 平成25年度 農業農村整備事業広報活動「農と水のふれあいひろば」開催 ～ 第15回広報キャンペーン ～

プロジェクト水土里では毎年、農業農村整備事業の重要性及び水土里ネットの役割等について子供を中心に広く一般県民に啓発するため広報活動イベントを開催している。

今年度は11月28日、プロジェクト水土里の構成員である、愛知県、(公財)愛知・豊川用水振興協会、水土里ネット矢作連合、水土里ネット愛知の4団体が主催者として、また地元の三河湖共生会の協賛を得て、「農と水のふれあいひろば」を竣工50周年を迎える羽布ダム(豊田市羽布町・旧下山村)で開催した。

午前10時15分より行ったオープニングセレモニーでは、川上万一郎水土里ネット矢作連合理事長(県議会議員)が主催者を代表してあいさつを述べた後、出席した松下栄夫愛知・豊川用水振興協会理事長、青木章雄水土里ネット愛知専務理事、溝田大助農林基盤担当局長が加わり4名によ



テープカット

るテープカットを行った。

イベントは「知る！」として羽布ダムの歴史や維持管理等について、特に通常入ることのできないダムの操作室や監査廊(内部)、放流棟の見学会、「見る！」として愛知県内の田んぼや巴川に生息する魚類や水生昆虫と、カメ5種を展示した田んぼの生きものなどの水槽展示、「学ぶ！」として県内の農業農村整備事業や羽布ダムについての

18ページへ続く

パネル展及び本会の第15回広報キャンペーンとしての「あいちの農業・農村パネル展」の実施。また、「食べる！」として三河湖共生会による五平餅などの販売が行われた。

当日はダム見学会に事前申し込みを行った小学生、親子づれや三河湖の秋の紅葉を見に訪れた人々等約300人の来場者があり、終始大勢の人たちで賑わいを見せていた。



あいちの農業・農村パネル展



田んぼの生きものなどの水槽展示

## 研 修 会

### 農業用排水機県営移管期成同盟会視察研修会 開催

9月30日～10月1日にかけて、千葉県山武郡横芝光町の東部排水機場(県営湛水防除事業)、大型ポンプ・高圧ポンプメーカーである(株)荏原製作所 富津工場(千葉県富津市)、の視察研修会を開催した。

地域整備課の三塚課長より東部排水機の概要、維持管理、年間の運転時間等について説明を受けその後建屋を見学した。

2日目は(株)荏原製作所 富津工場の工場施設見学を行い有意義な研修会となった。

研修会には、同盟会役員・会員等57名が参加し、研修1日目は東部排水機場を視察し、千葉県



東部排水機場概要説明



(株)荏原製作所 富津工場見学



## ■ 水土里ネット事業視察研修会 開催

11月19日～20日にかけて、農業農村整備事業の推進を図るため、19日には、兵庫県淡路島市において、「水土里ネット五斗長」、「あわじメガソーラー」を、20日には兵庫県加西市「水土里ネット加古川西部」において事業視察研修会を開催した。

研修会には55名が参加し、1日目は、水土里ネット五斗長の高田理事より、集落の取組・土地改良区創造運動及び営農活動について説明を受けた。また、淡路市役所において、管財課の担当者よりメガワット級ソーラー集積事業について説明を受けた。

2日目は水土里ネット加古川西部において、藤原副理事長の挨拶の後、松本事務局長より土地改



水土里ネット加古川西部 東西分水工

良区の概要等の説明を受けた後、現地の東西分水工において担当者より説明を受けた。参加された方々は、それぞれの立場から熱心に視察していただいた。

**適正化事業加入団体现地研修会**を12月4日、岐阜県多治見市の下の池(適正化事業堤体整備補修工事)、岐阜市の各務用土地改良区の芥見大船太陽光発電所において開催した。この研修会は土地改良施設の適切な維持管理と適正化事業の円滑な推進を図ることを目的に毎年実施しているもので、参加者は、市町村・水土里ネット職員51名。



芥見大船太陽光発電所



汁谷排水機場

**排水機管理担当者現地視察研修会**を12月11日、三重県多気郡明和町「国営斎宮調整池」、伊勢市「汁谷排水機場」において開催した。この研修会は、排水機管理担当者の管理技術の向上及び管理意識の高揚を図るために開催したもので、参加者は、市町村・水土里ネット等の職員や運転管理者62名。

# 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2013

## ～入賞・入選作品決定 本県応募作品のうち3作品が入賞に選考～

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2013に、全国から8,650点、本県からは1,420点(うち団体応募6団体)の応募があった。

この絵画展は、子どもたちに田んぼや農村に関心をもってもらい、田んぼ、水路やため池による水の循環や環境保全への理解をうながし、大人たちへのメッセージとして子どもたちのまなざしを届けることを目的として平成12年度から全国水土里ネッ

トと都道府県水土里ネットが主催している。有識者による厳正な審査の結果、入賞作品19点、入選作品118点、団体賞作品60点が決定した。本県からは、入賞として全国農業協同組合中央会会長賞、お米がうまいで賞、不二家ファミリー文化研究所賞の入賞3点と入選10点が選考された。

なお、団体応募には、水土里ネット南陽、水土里ネット愛知用水、水土里ネット明治用水、水土里ネット油ヶ淵悪水、水土里ネット豊田、水土里ネット豊川総合用水の6団体が参画し、理事長賞等16点が選考された。

### 全国農業協同組合中央会会長賞



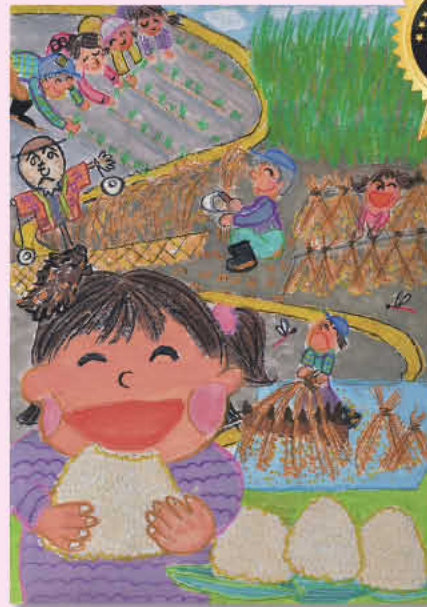
「すみ(炭)焼き 五平もち」 深津 遥生  
豊田市立寿恵野小 2年

### 不二家ファミリー文化研究所賞



「すいかあまいな」 狩野 絢南  
大府市立桃山保育園

### お米がうまいで賞



「おいしいお米になりました」  
東郷町立兵庫小 5年  
一野 希恵



「たんぼってたのしいな」  
滝塚 ななみ 半田同胞園



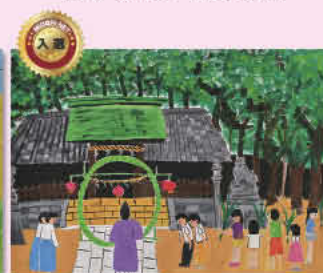
「おはあぢやんのトマトあまじやー」  
古橋 柚乃 つばき幼稚園



「ありがとう おじいちゃん」  
落合 奏弥 岡崎市立下山小 2年



「わが家のいねかり」  
鈴木 煌晟 刈谷市立小垣江小 3年



「夏祭り 輪くぐり」  
池田 勘汰 豊田市立堤小 3年



「稲の苗作り」  
川島 彩葵 名古屋市立港榮小 3年

# 第12回 あいちの農業・農村フォトコンテスト

## ～大賞・優秀賞・入選作品決定～

本会主催、愛知県後援の「第12回あいちの農業・農村フォトコンテスト」の審査会を12月12日、愛知県土地改良会館7階大会議で開催した。県内各地から、今回のテーマ「土地改良施設と人・生き物」を表現した作品312点(147人)の応募があった。審査は、審査会規程第2条により実施され、8名の審査員による厳正な審査の結果、水土里のフォト大賞1点、優秀賞2点、豊かな農地あいち特別賞1点、農地・水保全管理活動特別賞3点、入選10点の17点が選考された。

なお、入賞・入選作品の展示を下記の日程により実施しますのでお立ち寄りください。



審査会



★水土里のフォト大賞 「明治用水春景色」(安城市)  
撮影者:小澤 昌平氏の作品は、表紙に掲載しております。



★水土里のフォト優秀賞  
「早朝」(豊橋市) 撮影者:水谷 清

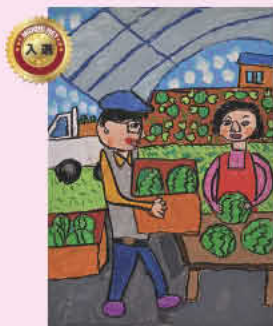


★水土里のフォト優秀賞  
「憩の公園」(豊田市) 撮影者:清水 鈴代



### 【展示場所および期間】

展示場所	展示期間(予定)	展示場所	展示期間(予定)
県庁本庁舎・西庁舎の地下連絡通路	平成26年2月3日(月)AM ～平成26年2月12日(水)PM	西三河県民生活プラザ (西三河総合庁舎1階)岡崎市明大寺本町1-4	平成26年3月3日(月)AM ～平成26年3月14日(金)AM
海部県民生活プラザ (海部総合庁舎1階)津島市西柳原町1-14	平成26年2月17日(月)AM ～平成26年2月28日(金)AM	東三河県民生活プラザ (東三河総合庁舎1階)豊橋市八町通5-4	平成26年3月17日(月)AM ～平成26年3月28日(金)AM



「おいしいいかいっばいこれだよ!!」  
船田 沙季 刈谷市立衣浦小3年



「水路そつじの若者」  
水野 真斗 名古屋市立ほのか小4年



「赤い電車の見える広い田んぼ」  
鈴木 かのん 刈谷市立小垣江小5年



「草かりをしているおじさん」  
藤織 るか 安城市立文山小5年

※団体応募は、すべての水土里ネットが参画できますので平成26年度に向けてご検討いただければ幸いです。詳細は、総務部企画広報課まで問い合わせください。

# 水土総合強化推進事業情報

## Ⅱ 平成25年度 技術力向上事業技術実践研修 Ⅱ

平成25年度技術力向上事業技術実践研修会を10月8日から10日までの3日間、本会主催で開催した。

本研修は、農業農村整備事業の円滑な実施を図るため、市町村職員及び水土里ネットの役職員の技術力向上を図るべく、水土総合強化推進事業の一環として実施するもので、平成23年度より新たに創設された事業で、研修には、県内各地から農業農村整備事業に携わる市町村・水土里ネット



青木専務理事挨拶

などの役職員56名が受講。研修会開講にあたり、青木章雄水土里ネット愛知専務理事が挨拶を述べ、続いて来賓として臨席いただいた中村直文愛知県農林基盤担当農地整備課長より挨拶を頂き、研修に入った。講師は、東海農政局、愛知県から、下記カリキュラムにあるように当該事業を直接担当されている方々をお招きし、それぞれの内容で具体的に指導いただき有意義な研修となった。



津波避難階段

### ※カリキュラム

月日	研修科目	講師 (敬称略)
10月8日	農業農村整備を取り巻く最新の動向と施策	東海農政局整備部 設計課 課長補佐 梶瀬 誠
	施工にかかわる会計検査の動向	東海農政局整備部 設計課 工事検査官 藤井 敬一
10月9日	災害復旧事業の概要	東海農政局整備部 防災課 災害査定官 吾田 嘉彦
	災害の予防及び発生直後の措置	
	災害の調査及び復旧工法	東海農政局整備部 防災課 災害係長 上畑 信彦
	防災と減災	東海農政局整備部 防災課 課長補佐 大本 修
	愛知県における災害復旧	愛知県農林水産部 農地整備課 課長補佐 愛知 徹
現地研修 10月10日	孫宝排水機場及び津波避難階段	水土里ネット孫宝 事務局長 宇野 彰一
	矢作川総合第2期地区耐震化対策	東海農政局整備部 設計課 農業土木専門官 杉本 尚

## Ⅱ 換地関係異議紛争処理対策検討会 Ⅱ

全国水土里ネット主催による同検討会が、11月8日、岐阜県土地改良事業団体連合会1階第1・第2会議室において開催され、農林水産省、東海

農政局、岐阜県、三重県、愛知県、水土里ネットぎふ、水土里ネットみえ、水土里ネット愛知、全国水土里ネットから31名が出席した。

### (協議事項)

- ① 換地を取り巻く状況について 農林水産省農村振興局 土地改良企画課 換地係長 高島 久美
- ② 換地関係異議紛争事例検討
- ・変更権利者会議による換地計画決定事例 水土里ネットみえ 農地集積課 課長補佐 前田 靖彦
  - ・地区界測量に係る立会拒否について 全国水土里ネット 中央換地センター所長 浦山 正四  
水土里ネットぎふ 換地指導課長 藤沢 広美
- ③ 基調報告
- 県土連における相続等代位登記の処理実態について 全国水土里ネット 中央換地センター所長 浦山 正四

## お知らせ

### ◎平成25年度水土里ネット役職員研修会開催

**日 時** 平成26年1月15日(水)10時30分～ **場 所** 愛知県土地改良会館 7階大会議室

#### 研修内容

(敬称略)

1 賦課金等の滞納処分について	講師:東海農政局農村計画部 土地改良管理課 土地改良指導官 前田 利明
2 男女共同参画について	講師:東海農政局経営・事業支援部 経営支援課 課長補佐 工藤 正孝
3 監事の役割と会計監査の実務について	講師:東海農政局農村計画部 土地改良管理課長 杉原 一朗
4 「～高校生レストランの仕掛け人から学ぶ～ “地域の宝を探し出せ”」	講師:三重県多気郡多気町 まちの宝創造特命監 岸川 政之

※参加申込等の詳細については、12月10日付で通知しました内容をご確認ください。

## Ⅱ 農業基盤整備資金の金利のご案内 Ⅱ

平成25年11月21日現在の日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利は次のとおりです。

金利は金融情勢により変動します。

最新の金利は名古屋支店農林水産業農業食品第二課(TEL052-582-0745)にお問い合わせください。

区 分	利率一覧 (平成25年11月21日現在)				
	借入期間にかかわらず	融資期間別(一例)			
		5年	10年	15年	20年
県営補助残	1.15%	—	—	—	—
団体営補助残	1.00%	—	—	—	—
非補助	1.00%	—	—	—	—
災害復旧	—	0.45%	0.55%	0.85%	1.00%

# 迎春

本年もよろしくお願いたします

平成26年 元旦

会 長	神 谷 金 衛	明 治 用 水 土 地 改 良 区 理 事 長
専務理事	青 木 章 雄	学 識 経 験 者
理 事	長 瀬 保 一	北 名 古 屋 市 長
〃	市 野 清 一 夫	西 福 田 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	谷 川 宣 彦	一 宮 市 長
〃	恒 中 野 治 美	宮 田 用 水 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	中 浜 田 一 徳	海 部 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	澤 田 丸 四 郎	学 識 経 験 者
〃	澤 田 廣 三	学 識 経 験 者
〃	山 口 文 雄	愛 知 用 水 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	川 上 万 一 郎	幸 田 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	榊 原 康 正	矢 作 川 南 部 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	三 浦 孝 司	西 尾 市 長
〃	久 野 知 英 夫	豊 田 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	小 久 保 三 夫	み よ し 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	横 山 光 明 夫	豊 川 総 合 用 水 土 地 改 良 区 理 事 長
代表監事	白 木 実 夫	設 楽 町 長
監 事	早 川 健 三	鍋 田 土 地 改 良 区 理 事 長
〃	森 下 吉 直	油 ヶ 瀧 悪 水 土 地 改 良 区 理 事 長
		田 原 市 土 地 改 良 区 理 事 長

(副会長は欠員)

事 務 局 長	樋 口 利 彦	施 設 管 理 課 長	石 川 和 宣
事務局次長(兼)総務部長	早 川 木 清 敏	測 量 課 長	義 経 倫 浩
耐震対策担当部長	鈴 木 坂 藤	名 古 屋 支 会 事 務 長	黒 川 野 田 和 啓
計画部長(兼)計画課長	長 近 萩 横 坪 天 早 本	一 宮 支 会 事 務 長	谷 川 野 田 原 相 崎 野 田
整備部長		海 部 支 会 事 務 長	水 池 小 笠 原 嶋 水 秋
総務部次長(兼)企画広報課長		半 田 支 会 事 務 長	小 笠 原 嶋 水 秋
整備部次長(兼)整備課長		岡 崎 支 会 事 務 長	小 笠 原 嶋 水 秋
総務課長		幡 豆 支 会 事 務 長	小 笠 原 嶋 水 秋
調査課長		豊 田 支 会 事 務 長	小 笠 原 嶋 水 秋
水土里センター室長		豊 橋 支 会 事 務 長	小 笠 原 嶋 水 秋
指導			小 笠 原 嶋 水 秋

外職員一同